

決算特別委員会産業建設分科会

H30. 7. 27 (金)

午前11時15分～

場所：第3委員会室

- 1 開 議
- 2 事務事業評価対象事業の選定
- 3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

☆事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去3年間における評価結果（選定事業／評価結果／付帯意見）

【平成29年度審査】

農業事務経費	見直しの上縮小
○農業公園については、管理運営方法（指定管理者制度）の見直しを検討するとともに、地元との連携を推進して、効果的な活用を図られたい。	
商工業振興対策経費	見直しの上継続
○時代の変化や市民ニーズを的確に把握し、庁内関係課や地域経済団体との連携を一層進めた上で、事業の拡充を図られたい。	
観光推進経費	見直しの上継続
○本市の観光資源間・事業間の連携を強化の上、庁内関係課連携のもと、誘客数拡大に向け、より一層の事業の拡充を図られたい。	

【平成28年度審査】

商店街等活性化推進事業	見直しの上継続
○地方創生交付金等を活用した補助事業（プレミアム付商品券や「街バル」「100円商店街」等）は一過的な事業効果とならないよう、その効果を分析して、次の施策への工夫・展開が求められる。商店街・個店の意欲を喚起し、その魅力をさらに引き出せるような支援に向けて取り組まれない。	
公園緑地管理経費	見直しの上継続
○亀岡運動公園については、利用者のニーズにより的確かつ速やかに応えられるよう、指定管理者制度を十分活用する中で業務内容を見直し、一層のサービス向上に努められたい。	

【平成27年度審査】

安全・安心の農産物栽培支援事業経費	継続（改革改善）
○農業振興につながることを施策の基本として、事業目的に沿った成果が表れるよう改善を図り、耕畜連携による循環型農業の推進に一層努められたい。 ○土づくりセンターにおける堆肥支援は、安価で良質な堆肥の安定供給・普及をめざすものとして、農・畜産業の経営安定に資する支援となるよう望む。	
観光PR推進事業経費	継続（改革改善）
○るるぶスマートフォンアプリについてはその有効性を十分検討し、SNSの特性を生かした効果的な手法となるよう改善を図り、観光協会と連携して取り組まれない。	
安全なわが家の耐震化促進事業経費	継続（拡充）
○効果的な普及啓発について検討し、耐震化率向上に向けて継続して取り組まれない。 ○耐震改修助成制度の拡充に向け、新たな補助施策についても検討を深め、補助金確保に鋭意努められたい。	